

Acueil News

アクイール ニュース

令和4年 1月号 (第95号)

編集・発行

特別養護老人ホームアクイール

広報委員 担当 大沼

我孫子市岡発戸1498

☎04-7165-6511

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の箱根駅伝は、地元の中央学院大学が二年ぶりに出場を果たしました。ユニホームには、「我孫子市」のロゴが入り、市民として、テレビにかじりつき応援をしました。残念ながら、結果は総合十六位でゴール。目標としていたシード権の獲得はなりませんでした。来年も予選会を通過して箱根路での活躍を期待したいと思います。

総合優勝を果たしたのは、二位と十分以上の差をつけ圧勝した青山学院大学でした。青山学院大学の選手は皆、「笑顔」で襷渡しをしていました。トップでの襷渡しですから、笑顔が出て当然と思われる方もいるでしょう。二十キロ以上をほぼ全力で走り切った後に、爽やかな笑顔です。並大抵のことではありません。ファンには、たまらない瞬間と思います。苦楽を共にしてきた仲間に関わることができるとも笑顔が出る一因でしょう。

「笑顔」がもたらす効果には、いくつもの良いことがあります。免疫力が上がる。前向きな気持ちになる。コミュニケーションが円滑になる。幸福度が上がる。周りに良い影響を与える。など、良いことだらけです。忙しい時や、考え事している時に、なかなか笑顔になれないこともあります。つらい時こそ笑顔を忘れないこと。それが、幸せにつながるということを胸に、今年一年過ごしていきたいと思います。マスクをつけることが、当たり前になって、相手の表情が読み取りづらくなってしまったこの時代に、心からの笑顔は、大切です。

職員が、笑顔で出勤し、笑顔で退勤できるような環境づくりと、その職員の笑顔によって、利用者、ご家族へも笑顔が伝染する。そんなアクイールにしていきたいので、今年もどうぞよろしくお願いたします。マスクを外して以前のような日常が訪れたときに、最高の笑顔があふれることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

追記

昨年一年間で、朝のランニング累計二千キロ超を走破しました。東京から台湾ぐらいまでの距離です。ちりも積もればと言いますが、毎朝の四十分の積み重ね。今年も駅伝選手のように、爽やかに走り抜けたと思います。

施設長

渡邊 豊

お正月



一年の計は元旦にあり。

毎年恒例となりました元旦には、渡邊施設長が、アクイール内の全部署へお屠蘇を振舞い、利用者様と職員に新年の挨拶を行いました。皆さまお正月の雰囲気味わい、喜ばれておりました。

入居されたばかりの利用者様が渡邊施設長が全部署を回っている事を知りとても驚かれました。

お昼には、お節料理をおいしくいただきました。



しずく・てまり 忘年会

十二月二十二日に一年の締めくくりとしてしずく・てまりユニット合同忘年会を行いました。

サンタの帽子をかぶりユニット内にクリスマスツリーや飾り付けをしてクリスマス感を味わいながら利用者様、職員が協力しクリスマスツリーをイメージしたケーキを作りました。ケーキを食べる時は利用者様からのご要望でドリフのDVDを流しました。



幹の部分にはチョコレートを
使用しています



竹灯籠

令和3年12月18日～令和4年1月10日まで、滝前不動にて「新春竹宵」が開催されました。手賀沼ふれあい道沿いの幻想的な竹灯籠をご覧になった方もいらっしゃると思います。こちらのイベントを主催されたNPO法人「住み良いまちづくり研究所」様のご厚意より、なんとアクイール正面ロータリー芝生上に2月末まで竹灯籠を設置していただけることになりました！

NPO 法人「住み良いまちづくり研究所」様
<https://sumiyomachidukuri.studio.site/>

十二月二十八日に毎年恒例となりました餅つきを新型コロナウイルスへの対策として部署ごとに分けて行いました。

飾り用の餅を作る為利用者様、職員、託児所の子供達が協力して餅をついていました。中には職員に見守られながら一人で餅をつく力強い利用者様もいらっしゃいました。

餅をつくときには「よいしょよいしょ」と周りで見ている人達が声出しをして盛り上げていました。厨房の職員が用意して下さった甘酒を「おいしい」と何度もお代わりしようとする利用者様もいらっしゃいました。新型コロナウイルスで大変だった令和三年を締めるのに相応しいイベントになりました。来年はコロナも無く開催できることを願っています。

年末お餅つき

